

『Q-U・hyper-QU』

～学校再開後の学級集団づくりに～

『学級集団アセスメント Q-U・hyper-QU』（以下『QU』）は、子供たち一人一人の承認感や困り感、学級集団としてのまとまり（満足感）を把握することで、客観的なデータに基づいた学級経営をするための心理検査です。

本年度における『QU』のご利用方法について、ご案内を申し上げますとともに、ご検討いただく際の参考にしていただけたらと存じます。

◎心理的ストレスを把握する～ストレスの少ない、ふれあいのある集団づくりに～

長期休校により、子供たちは不安やストレスを抱えたまま新しい学校生活を迎えることとなります。子供たち一人一人の「こころ」を、普段の様子や対話、そして『QU』で捉え、この1年間を安心してみんなと楽しく過ごせるための資料としてご活用いただけたらと存じます。

◎新学習指導要領「主体的・対話的で深い学び」の実現へ向けて

小学校では今年度から「主体的・対話的で深い学び」の取り組みがスタートします。授業の開始が例年よりも早まる今年度においては、「自分の存在が認められる、安心して発言できる」といった学習集団づくりに『QU』を活用することができます。

◎インクルーシブ教育の実現へ向けて

インクルーシブ教育システムの実現には、学級内すべての子供たちの教育的ニーズを把握し、適切な指導及び必要な支援を行うことが求められております。

『QU』を実施することは、子供たちをより深く客観的にアセスメントしていくことにつながり、一人ひとりが満足し、様々な活動にも意欲的に取り組むことができる第一歩となります。

◎実施時間と実施時期について

『Q-U・hyper-QU』は短時間で実施ができます。（15分～20分程度）

また、本年度の実施時期は、学校再開から約一か月後をおすすめしています。

さらに2回目以降は、11月以降に実施を予定されているところが多いようですが、年明けの1・2月に実施をし、次年度の学級編成用にもご活用されるケースもあるようです。